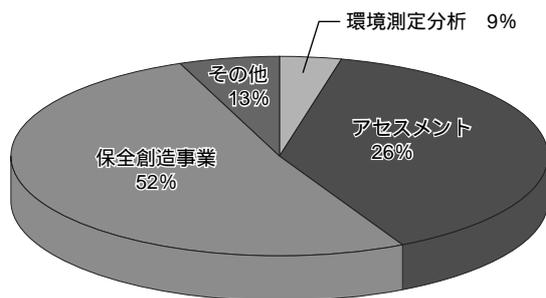


アンケートのまとめ

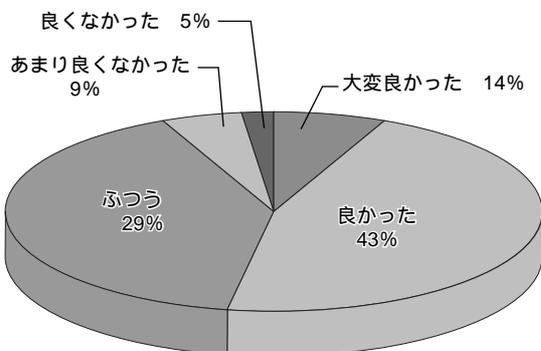
1

講演「廃棄物処理の現状とこれから」
をお聴きになった感想を
お聞かせください

ひょうご環境創造協会の取り組んでいる事業
の内どの事業について興味がありますか。



講演を聴いてどのように感じましたか。



講演に対する感想を記入してください。

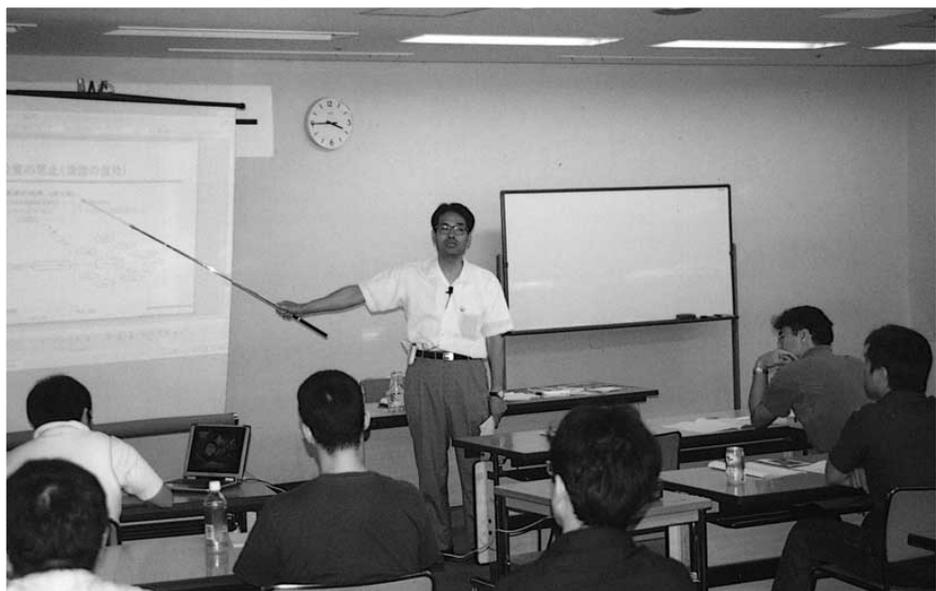
- 廃棄物の定義から法律まで、内容的には幅広いことを要点を絞って説明していただいたので、わかりやすい講演であった。廃棄物処理を行うには、産・官・学・民がいろいろと意見を持ち合って協力して実行すべきであると感じられた。
- 官庁の方が、法律を根拠に、どのように担当省庁を決め、どのように仕事を進めるのかイメージがつかめた。
- 講演を通して、公務員の方の「決断しない体質」(責任を回避する体質)を、赤裸々に語っていただいた講師に好感が持てた。
- 廃棄物と有価物の解釈についてなどは非常によかったが、現在の法律に対する解釈といった内容でなく、ゴミ問題を根本的に解決するためには、どのようにしたらいいか(例えば他国の現状・動向など)などの方向性についての話があればより良かったと思う。
- 話の内容(項目)が多すぎて、聞きたい項目の話が少なかったため、残念であった。でも、概略的であったが、全体の取組みがわかったので今後の業務に生かしたいと思う。
- 今回のセミナーの内容が、実務と直結したテーマであり、大変興味深く聴講することができた。法律の解釈などについては、日頃あまり勉強することがなく、良い機会になったと考えている。少し残念だった点は、講師の先生の体験談をもう少し聞いたかったことであるが、これについては終了後の懇親会でカバーすることができ良かった。
- 内容についての説明は申し分ありませんが、何をしたいのか、今後どうしたいのか、あまり伝わってこなかった。講演会というより説

明会に近い。パワーアップにつながったかどうかは？ もっと自分はどうしたいという熱い話を聞きたかった。

- 仕事上、関連のあるテーマであったし、内容も理解しやすかったので、大変良かった。
- とにかく、国は何もしてくれないということをも痛切に感じた。市町村で対応（処理）が異なる。外国に比べて、非常に遅れている。リサイクルで処理できない有価物が廃棄物ではないという考え方が見られない。そのために「ひょうご環境創造協会」等のとりまとめ役が必要となるのであろう。
- 話の範囲が広すぎて、得るものが少なかった。苦労話など、具体的な話をしてほしかった。
- 現在の自分の業務に関わりのない分野のテーマであったため、話の内容をなかなか理解できなかったが、逆に新鮮に聞き入る事ができ、今まで考えなかった廃棄物について少し考える様になった。
- 初歩的な講演にして頂いていることは十分考えられたが、恥ずかしながら内容理解するには自分の実力・情報不足あり。（環境装置、大気環境の方はもっと突っ込んだ講演を希望されていると思うが…。聞く人間のレベルが

様々であり、レベル合わせは困難と思う）

- ただ、世の中の環境保全に関する動きを少なからずとも知るチャンスを頂けたと感じる。
- 講師の方の人となりの講演と、廃棄物処理についての講演のどちらがメインなのかが、今ひとつ見えてこなかった。
- 廃棄物処理に関しては、今まで何気なく使っている一般廃棄物という定義を改めて確認することが出来た。
- 廃棄物処理・リサイクルは、出す側と受け入れる側、両方が協力しなければならない。もっと、その辺りの話も聞きたかった。
- 廃棄物の分類の定義づけに苦労されているのが、大変伝わりました。私も市民としてゴミを出す場合、これはどのような分類に属しているのかと迷うことがよくあります。個々人の解釈によって変わることは十分あり得ることで、そのことについてルール作りをする立場の人の考え方が聞けて良かったと思います。完璧な定義づけは、不可能ですよネ。
- 今一、的を射ない講演で、正直な所自分の仕事柄排ガス処理において産廃焼却関係の客先が多いため聞きたいことはあったが、逆にほぐらかされたかの様であった。

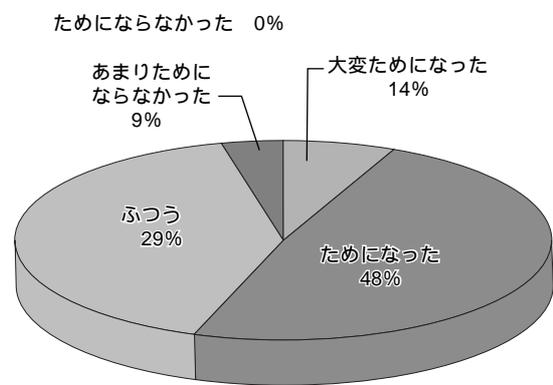


- 廃棄物処理法は、内容が非常に複雑で初めての方が理解するには、非常に労力を必要とする法律だと思います。種々雑多な廃棄物の分類や廃棄物の定義など、廃棄物に取り組むかかりの部分を分かりやすく説明頂き、初めての方にもよくわかったのではないのでしょうか。その他、廃棄物に係る事業を営もうとする我々が直面する住民同意の問題や、法解釈の違いにより発生する問題等うなずきながら聞かせて頂きました。
- 廃棄物は、現在仕事で取り組んでいるテーマでもあり、参考になる話が聞けるかと思いましたが、特に目新しい話はなかった。職場の人間関係の話は良かった。
- 廃棄物処理に関する仕組みについて体系的に説明があり、よく理解できた。現在、産業廃棄物の最終処分場の設置に関連した業務があり、大変ためになった。
- 時間が足りなかったのか、少しまとまりのない感があった。内容としては分かり易かった。
- 公務員として話しにくいことを聞かせて頂いて面白かったです。大阪湾の事、野焼きの事等のエピソードしか私の頭には残っていませんが、「規制法等の話が業務に役立つ」と大変喜ばれていた資源再生事業室からの参加者の言葉で良い講演だったのだと後から思われました。
- 現状の業務に関係してることもあり、大変興



味深いものでした。建設工事においては、近年顧客（官庁）からも廃棄物処理については非常に重要視している所であり、現状・今後の展開・適正処理等改めて重要性を認識させられました。

実業務との関連有無は別として、ためになりましたか。



それはなぜですか。

- 自分の知らない話は、何でもためになる。
- 廃棄物処理は、これからの大きな課題であり、廃棄物をいかにして少量化するか させるべきかを改めて認識できた為。
- 公務員の思考方法、仕事の進め方を通じて、当社の官需関係の方の苦勞の一端を知ることができたことが有意義であった。（過去の実績重視・縦割行政など）
- 廃棄物処理の現状（不法投棄、処分場の状況）について知ることができ、日本のゴミ問題に対して危機感を覚えたとともに、我々一人一人がゴミの発生を抑えるよう考えていかなければならないと感じたため。
- ゴミ、浸出水処理の計画業務を行っているので、違う面での取り組み等がわかった。
- 今回のセミナーの内容について、廃棄物とあまり関わりのない人が聴いた場合は、印象に

残りにくいと思われる。もう少し講師の体験談を多くしてもらった方が、一般受けすると感じた。

- 知らなかった事、疑問に思っていたことが分かったから。
- 当社で特に最近事業として取り組んでいる、PCB処理（関連してSD製造）、S-TE、膜モジュール（FMモジュール）に少なからず関係している。市民一人一人が廃棄物（ゴミ）について、もっと関心をもつ必要があると感じた。
- ほとんどが既知の情報であったため。条例制定の裏話などがあればためになったと思う。
- 廃棄物について考える様になった事により、日常生活の中でゴミを出すときなど、たとえば「これは有価物ではないか」とか、「これを混ぜると有害物質が発生しないか」など、いままで無意識にしてきたことを少し考えるようになった。（まだあまり実行出来ていませんが）
- 正直なところ、環境保全という自社に深く関与する分野に関して、自分が如何に興味を持っていなかったか、また少なくとも今回の講演を理解し、質問が出せる位の知識を得たいという機会となったため。
- 知らない分野に触れることが出来たという点においては、ためになったと思う。
- 廃棄物の位置付けについては、いろいろな法律によって、区別されていることがわかり勉強になった。
- 自分でもよく分からないが、変に仕事柄携わっていて詳しいため、しょうもない内容に思えたのかもしれない。
- 廃棄物処理を事業活動とする者にとって、優れた処理技術の開発が重要であることはもちろんのこと、地域住民との、リスクコミュニケーションが大切であることを再認識させられた。
- 廃棄物処理に関する仕組みについて体系的に説明があり、よく理解できた。現在、産業廃

棄物の最終処分場の設置に関連した業務があり、大変ためになった。

- リサイクル関係の話について、興味深く聞くことができた。
- 人の話はいずれ何かの時に役立つだろうと思って聞いているので、特に今なにがということはありませんが、今後この講演の話を出すこともあるかと思います。多分...
- 廃棄物処理は一般家庭においても、ゴミの分別回収等毎年規制が厳しくなっており、個人の認識・知識を深めることにより、生活環境の向上に努める必要があるため。

2

みなさん自身のことについて お聞かせください

当社は企業理念のひとつに「技術を通して豊かな環境作りに貢献する」と掲げていますが、セミナーに参加してこうした理念を持つ会社の企業人としてどう感じましたか。

みなさん自身のことについてお聞かせください。

- 廃棄物の問題は企業人として語るより、一市民、人として考えさせられます。空き缶、タバコのポイ捨て等、事件にならない“不法”投棄が目に残ります。技術もいない、常識があればできる環境作りもあります。この理念を持つ企業人としては、まず、マナーを守る人になることが大切だと思う。廃棄物を出さない人、出さない技術。
- 住みよい環境を作るには、様々な技術やノウハウが必要である。当社は、それらを十分発揮できる会社であり、その一企業人としては、住みよい環境作りが我々の使命であると感じた。

- 企業理念については、社外に誇れる立派なものだと思うので、全社員が共有できるように労使で取り組んでいくべきだと思う。しかし、まだまだ社員の行動理念まで落とし込まれていないと感じる。
- このようなセミナーを通して環境問題に対して知識を得て、自分自身の意識を変えていくことは非常に大事であると感じた。単純にゴミ等の問題を処理する技術だけを覚えるのではなく、問題を身近に意識しながら業務に取り組む必要があると感じた。
- 当社で業務（特に計画について）するには、重要なことと思う。
- 環境装置メーカーに勤める人間として、職務として環境保全に貢献することは当然のことながら、一市民としても、環境作りに関わっていくことが重要だと考えた。
- はっきりいって、この企業理念を憶えていませんでしたのでわかりませんが、この理念と現実は今のところ程遠いような気がします。
- 正直なところ、当社の企業理念を今まで知りませんでした。（気にしていたことといえば、ISOの品質方針ぐらいでした...）どの場においても、普通に自分の企業理念が言えるような社会人を心がけます。
- メーカーとして技術がなければ存続はあり得ないと考える。一流メーカーになれるよう、全従業員のさらなる努力が必要。
- 日々行っている業務について思い起こすと、この理念に基づいて行われているか疑問がある。会社の中ではグリーン製品を使ったりしている反面、このような現状がある事に気づかせられました。これからは、このような現状を改善していけるようになりたい。
- 如何に自分の関心が無かったかを痛感、身の回りの簡単なことから、順番に環境保全に取り組みたいと考える。
- 企業理念に対し、自覚がない。企業理念をベースに仕事をどう行うべきか考える必要がある。
- 将来の廃棄物処理像を描きながら業務に取り組むことが大切だと思います。今のパンテツクの製品メニューがあるから、その製品をPRするのではなく、将来はきっと × のような装置のニーズがでてくるといった、将来予測を自分なりに描ける人が少しずつ増えて行けば、SPの未来は明るいと思います。
- 現実問題として、人間関係におけるしがらみの中で法の解釈などで環境保全に反する事業を行う場合があることを知った上で、いかにその技術力を駆使し、「豊かな環境作りに貢献する」が難しい問題を我々が背負っているんだと感じた。
- 最近「循環型社会」とよく耳にする様になりました。廃棄物の量を減らす為に、資源として再利用できるものは循環利用し、どうしても再利用できない廃棄物については適正な処分を行い、環境への負荷を可能な限り低減させることを目指した循環型社会こそが、今後我々が目指すべき社会と思います。今回の廃棄物処理法はその様な社会の形成の為の柱の一つであり、もう1本の柱が資源有効利用促進法です。これらの根本にあるのは環境基本法であり、我々が事業活動のテーマにあげる環境保全の根幹となるものであると考えます。今回のような機会にさらに環境に関心を持ち社員全員の意識・技術の向上が図れればと思います。
- 会社が決めた理念ということを離れても、当社を選んだ人は多かれ少なかれこういう気持ちを持っていると思う。忙しい日常の中で忘れがちになってしまうが、思い出す良い機会になった。
- 社員ひとりひとりが、それぞれの立場・担当業務に理念を落とし込まなければならないと感じました。私はできていないと思います。
- まず、企業理念自体を把握しておらず、理解することが必要だと感じた。また、企業人としては各人の思想もあるがそれを統括する位



置づけとして企業理念が必要だと感じた。企業理念は会社自体の思想であるが、その意味が浸透していない会社ってどうなんだろう？と不安に感じた。

- 大変良い理念だと思っています。出たもの(廃棄物)を処理するだけでなく、出さなくする無くしてしまうというところまで踏み込んで技術を開発してほしいと思います。世のため人のためになる会社だと誇りに思っています。後は早く利益を出して従業員にもやさしい会社になってもらいたいものです。
- 会社の枠に収まらず、業務に関係することしなないこと他業種のことについて講演を受けることにより、知識・考え方を吸収できるのでとても有意義であると感じた。

30代は中堅世代として公私ともに充実した時期ですが、あなたが考える30代のあるべき姿とはどのようなものですか。

- 次世代である子供たちを立派な人間になるよう育てることが大切と思う。父親不在の子育てで失うものは多い。その為には、会社においても常に生産性を上げ、より効率的に仕事をしていかななくてはならない。同じく会社人

としても、今後どうしていくのか、日々の業務に追いかけるだけでなく、ビジョンを持った仕事をしていかななくてはいけない。人生短し、笑って死ぬる人生になる礎を30代で造らなければならない。

- 物事の動きや流れが読み取れ、行動を素早く起こして引っ張っていける。
- 後輩に対して「仕事の仕組み会社をこういう風に変えていきたい」とビジョンを語れるようになる。上司には具体案を提案していく。
- 20代で残した業績に(仕事の成果)失敗を経験談を通じて後輩に伝える。(特に仕事上で得た感動を伝える)
- 自己啓発に励み、後輩の目標になるように努める。(社外でも通用する力を蓄える)
- ベテランと若手の中間を位置するため、ベテランの持っている技術をより吸収するとともに、若手に対しても配慮を忘れずバランスをとらなければならないと思う。又、30代での頑張りが40代、50代へとつながるため、もっと積極的にがむしゃらに何事にも取り組んでいくべきだと思う。
- 受身でなく何事にも積極的に取り組む時期と思う。
- 自分自身が勉強することによって能力を身につけると同時に、後輩に対しても指導でき

るバランスの取れた能力が求められる年代だと思われる。

- もっと権限と責任を持って、30代が中心となり、今までのルール、やり方に囚われず会社を引っ張って行くべきだと思う。
- 仕事においては、重要な立場にあると考えます。上司からの要求に答える(命令)一方で、自分自身で判断しなければならない立場でもあります(特に重要なことは別として)。また、後輩への指導と教育(現実はやってません...)ならびに自己啓発というように、やるべきことがたくさんある(とあらためて再認識しました)。
- 会社を活性化させるための若手と上司とのパイプ役。若手の意見を取り入れ、上司へ発言できるだけの知識と先見性を磨く必要がある。
- 「若者」と「中年」の狭間なので、その「差」をつなぐように、上にも下にもいい意味で影響を及ぼす様にあるべきだと思う。
- 会社の理念・方針を十分理解し、それを20代、10代の若い後輩に分かりやすく説明できること。
- 会社の間違った判断等に対しては、若手社員の代表として、会社側に問題提起できることも重要。
- 会社を離れた世界(家庭、個人の生活)でも充実させ、会社の業務にも積極的な活動をする事。
- 社内・外の人から頼りにされる人間。
- 会社実務を理解し、会社側・客先側から見て状況判断を行い、最適な業務を行うこと。また、やりがいを持つこと。
- 新人の域を脱出したところであり、自分の新人時代を考えながら新人の育成にも力を入れる。
- 20代は何にでもチャレンジでき、進路を変更してもまだ軌道修正がきくといった世代と思いますが、30代は自分の持ち味を認識して、自分を生かせる分野は何なのかを見つける世

代だと思います。会社の上司は若い人の指導や管理能力を身につけないとダメと言いますが、まず人のことより、自分のことをよく知り、それを生かした仕事のやり方をできるようになることが30代のあるべき姿だと思います。

- 一番体力と気力が充実し、かつ将来にも希望がもてる時期だと思うので、自己のスキルアップ努力は継続しつつ、後輩の育成を心がけながら仕事はバリバリやり、かといって家庭をないがしろにするのではなく、休む時は休み妻子達と充実した人生を存分に楽しむ時だと思う。
- 30代はある程度の経験を元に、後輩たちの指導を通して自らの技術力に磨きをかける時代であり、また、自己責任において新しい企画にチャレンジできる世代であるとも思いません。
- 会社の主力として働く立場であり、かつ家庭でも家族とのコミュニケーションを大事にすべきと思う。子供が起きている間に家に帰れない生活が続いているが(私に限らず)、何とかしたいものである。
- 仕事面では、できているかは別として、幅も広がり、期待されている水準もたかくなってきていると感じています。本人さえ積極的であれば仕事を任せてもらえるチャンスはいくらでもあり、逆に何もせずにこなしていく悪知恵もついてきている。30代をどう過ごすかで今後の人生がかわってくる重要な時期だと思います。
- 会社の中での中心的な立場であると思う。管理職ではないが個々で判断しなければならないことも多く、ある程度の責任がある。ただ、それに見合うだけの報酬がないのであれば、人材が流出する恐れは十分あると思う。
- 30代が充実した時期だと思うのは、50のおじさん(今でも充分おじさん)になってから思うことで今はただバタバタと忙しいだけなのですが...あるべき姿とは、中堅として会社を

引っ張り、スキルを上げる為に自分を磨くことなのでしょうか？ どなたか教えてください。とりあえず私は、適当にハッターをかましながら真面目にやることだと思っております。

- 会社（組織）の中軸として、現状の改善のみならず先を考えた意見・提案が出来、また部下（後輩）のよき相談者としてアドバイス・討論を自らが先頭となつて行える立場であるべきと考えます。

3

パンテックユニオンについて お聞かせください

パンテックユニオンに期待することや、ご意見、ご要望についてお聞かせください。

- 経営に対して対等の立場で物を言える組織としてのユニオンに期待しています。経営トップが周期的に交代され、10年～20年後のロングスパンでの経営戦略が見えない。せめて、5年後のあるべき姿を見たい。ユニオンに対して継続的な取組みを要望しています。
- 現在の会社の状況は、悪いの一言に尽きる。会社の考えでは、今年度赤字を減らそうと苦肉の策を行っているが、その場しのぎでその後どうするのかということが見えていないのが現状なので、そこを明確にするよう要望していただきたい。
- 若手組合員を対象としたセミナー開催など。（生命保険、賃貸・持家の生涯収支シュミレーションなど、ライフスタイルの充実に関するもの）
- 組合員の組合に対する意識が薄れてきているのではと感じる。数年前に行った世代ごとの組合員が集まる組合活動に関する懇談会のよ

うなものも、半年に1回程度は行った方がいいのではないのでしょうか。

- 今回初めてセミナーに参加して好印象を持ちました。今回のような内容のセミナーについては、参加制限を設けないほうが良いと思います。
- 本社勤務時代は感じませんでしたが、支店は人数が少ないため、やはり本社と支店を較べると疎外感があるので、このような企画はうれしく思いますので続けていただきたい。もう一点、要望としては転勤者の住宅問題などについては、もっと改善して頂きたい。
- 当社として、今が一番苦しい時だと実感しています。とにかくヤルしかありません…。
- ユニオン活性化のための皆様の活動には頭が下がる思いです。
- しっかりと現実を見据えて、これからも組合員の為になる様な形であって欲しい。
- まず、事業部を超えた同世代の集まりに参加させて頂いたこと、非常に感謝します。
- 今回のようなセミナー参加は、日常業務に追われつい自分の業務にしか興味を持たない自分を反省する機会となり、刺激的であった。
- 30代を終わろうとしている今自分を顧みると、如何に組合活動に参加していなかったかに気付く。原因は下記2点と考える。自分の趣味他を重視、活動に参加していなかった。遠方のため、活動に参加し難かった。（私は、入社後一年間の研修期間を除き東京（2年）名古屋（3年）東京（10年）と殆どが出先に勤務）。前回の東京でのセミナーのように、出先の組合員の参加を配慮した活動にも期待します。（東京、各支店主催のイベント等も……。）たとえば、年を取れば取るほど、組合活動に参加しづらくなるのも事実で、若い組合員が増えた今がチャンスと思います。組合活動に参加率の悪かった自分を本当に反省しています。私の例を紹介頂き、若い組合員の参加率を是非向上させて下さい。
- 前にも書きましたが、家族で参加できるよう

な企画があっても良いと思います。

- 東京の組合員では、休みの日に日帰りで神戸に行くことに対し、抵抗のある人もいると思う。ぜひ、東京でも開催して欲しい。
- 非常によくやっていただいていると思います。休日も返上して組合のことに時間を費やすということは、なかなかできるものではないと思います。あまり役立たない意見と思いますが、今の活動内容で私は十分満足しています。
- やはり、時代時代に合わせた組合員のニーズを的確につかみ、いつまでも組合員自分たちのための活動を模索できる融通性を持たせた組織であってほしいとともに、やはり皆が気軽にユニオン事務所に立ち寄れる関係を作っていって欲しい。
- 若い人達に、自分達の未来像を描かせてあげて欲しい。終身雇用が危ぶまれる時代だからこそ、若い人達がこれから何をすべきか、どんな技術を身につけるべきなのか、各自のスキルアップが可能なテーマについて取組んで欲しい。
- 会社側には、もっとスピーディで詳しい情報

公開を求めて欲しい。

- 会社の経営にまで首を突っ込むのは問題であると思うが、会社の状態・情報をいち早く組合員へ伝えることのできるパンテックユニオンであって欲しい。
- いつもセミナーに参加させていただくと講演の内容が面白く、企画・運営とご苦労されている執行部の方々に頭が下がります。ご苦労様です。今後も業績は厳しく苦しい対応が求められることとなりそうですが、企画力を高め強い組合として会社の経営を助けていけるようになっていただきたいと心より期待しております。
- 快適な、やりがいのある仕事ができるように日々職場単位で組合員の意見を聞いて反映させて欲しいと考えます。
- 私は代議員の経験がありますが、まだまだ一般組合員の方はパンテックユニオンの活動について興味が少ないと感じます。このたびのセミナー、その他活動を定期的実施しパンテックユニオンがもっと身近なものになるようにしていただきたいと考えます。

